

科目名・単位数	社会福祉基礎	(2)単位	学習レベル	基礎
---------	--------	-------	-------	----

学習目標

- ①社会福祉に関する基礎的な知識と技術を習得し、社会構造の変容やライフスタイルの変化が社会福祉の進展にどのような影響を及ぼしているか考える力を身に付ける。
- ②現代社会における社会福祉の意義や役割などについて理解し、社会福祉の基本的な見方や考える力を身に付ける。
- ③対人援助のあり方や社会福祉制度の基礎的な理解のもと、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の向上を図る能力と態度を身に付ける。

学期	学習内容	学習のねらい	備考
前期 (4月～9月)	4月 オリエンテーション 第1編 社会福祉の理念と意義	・年間の授業計画と基本的な心構えを準備する ・時代の変化とともに社会保障制度の必要性が高まっている事を理解する	
	5月 第2編 社会福祉の歴史と福祉社会の課題	・戦後から現代までの日本の変容と関連づけて理解する。自立生活のあり方について考える。 ・日本における社会福祉の基礎作り、発展について理解する。	DVD
	6月		
	7月		
	9月 第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度	・社会保障制度の財源が年々増えていることを理解する ・公的扶助の中核となる生活保護の基本理念や保護の動向について理解する。 ・少子高齢社会における高齢者福祉の課題について考える	新聞教材
	10月	・老化の特徴をとらえ、高齢者の健康づくり、介護予防の意義を理解する	
後期 (10月～3月)	11月 第4編 人間関係とコミュニケーション	・利用者を理解する際、言葉の背景や環境等様々な側面からとらえることを理解する。 ・他者理解のためには、自己理解が大切であることを理解する	DVD
	12月		
	1月 第5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度	・利用者理解と援助者の自己理解が援助活動を進めていく上でどのような意義を持つか考察する。 ・ボランティアの定義について理解し、地域福祉活動の中でどのような役割を担っているか考察する。	
	2月		
	3月		

評価の観点と方法

観点

- ① 社会福祉に関する基礎的な知識と技術を習得し、社会福祉全体についての理解を深めることができたか。
- ② 社会福祉の意義や役割などについて理解を深め、社会福祉の基本的な見方や考え方を身につけることができたか。
- ③ 社会福祉の向上を図る能力と態度を身につけることができたか。

方法

定期考査の成績、プリント・レポートなどの提出物の有無と内容、発表の仕方や内容、学習活動への参加の態度などで評価する。

使用教科書・副読本	社会福祉基礎(実教出版)		
教材・道具等	ワークシート		